

日本アメリカ史学会 臨時企画

「映画のミカタ」(仮)

上映会『ハーヴェイ・ミルク (The Times of Harvey Milk)』(1984)

ゲイであることを公言してサンフランシスコの市政執行委員になったことで知られるハーヴェイ・ミルク。彼を描き、1984年のアカデミー最優秀長編ドキュメンタリー賞をとった作品を上映します。オバマ就任後のアメリカ社会を横目に、ドキュメンタリーと歴史学との関係について考えるひとつのきっかけにしませんか。

日時：6月29日(月) 19:00~21:00

作品 87分+トーク(松原宏之—横浜国立大学)/質疑応答 30分

場所：専修大学神田キャンパス 7号館(大学院棟) 8階 781教室

主催/問い合わせ先：

日本アメリカ史学会 office★jaah.jp (★を@に変換してご使用下さい)

作品：The Times of Harvey Milk (1984)

ハーヴェイ・ミルクは大学卒業後、いくつかの職を経た後、ベトナム反戦運動に関わるようになる。ニューヨークのゲイバーを警官が襲撃した事件から、ゲイ解放運動に参加。サンフランシスコ移住後には、積極的に地域住民との関わりを持ち、ゲイとして初の市政執行委員に当選する。黒人や他の有色人種、老人やゲイ、レズビアンなどが、彼のアンテナとなり草の根運動を展開。当初ゲイというだけで彼を毛嫌いしていた人々も、次第に彼の誠実さや、弱者のための行動を理解し始める。しかし、当時彼の最大の協力者であったジョージ・マスコーニ市長と共に、同じ市政執行委員であるダン・ホワイトに狙撃され、不慮の死を遂げる。そして、ホワイトの裁判は驚くべき展開を見せる…。(配給会社パンドラ

HP[<http://www.pan-dora.co.jp/harveymilk/>]より抜粋。)



<最寄り駅から>

水道橋駅 (JR) 西口より徒歩7分
九段下駅 (地下鉄/東西線、都営新宿線、半蔵門線) 出口5より徒歩3分
神保町駅 (地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線) 出口A2より徒歩3分